

令和7年度 城山西小学校の特色ある教育の編成方針について

宇都宮市立城山西小学校長 鮎瀬 寿久

1 学校教育目標

(1) 基本目標

「人間尊重」の教育を基礎とし、知・徳・体の調和のとれた心身ともに健康で、思いやりのある豊かな心を持ち、確かな学力を身に付けた社会の一員としてたくましく生きる児童を育成する。

【目指す学校】

- 子どもが夢や目標に向かって楽しく意欲的に学ぶ学校
- 教職員が専門性を発揮し、子どものよさや可能性を伸ばしていこうとする学校
- 家庭や地域とのつながりを大切にし、信頼と協力で結ばれた学校

(2) 具体目標

- 情操豊かで、思いやりのある子ども（やさしく）
- 自ら学び、よく考える子ども（かしこく）
- 健康で、やりぬく子ども（たくましく）

【合言葉】

やさしく かしこく たくましく 笑顔輝く城西の子

2 学校経営の理念

本校は、平成17年度より「小規模特認校」に指定され、特色ある教育活動を推進してきた結果、学校統廃合の危機を脱することができ、伝統ある学校として存続している。また、平成27年度の小規模特認校10周年を機に、「小規模特認校 第2ステージ ～新たな学校の創造～」の取組を展開している。

今後、本校がさらに発展していくためには、縦軸（人材育成と伝統の再構築）の視座に立った協働の展開と横軸（確かな教育活動・特色ある教育活動と市内へのPR）の視座に立った持続可能な教育活動の展開が不可欠となる。PDCAサイクルを活かしながら活動の展開と改善を重ね、立体的な発展を遂げていきたい。

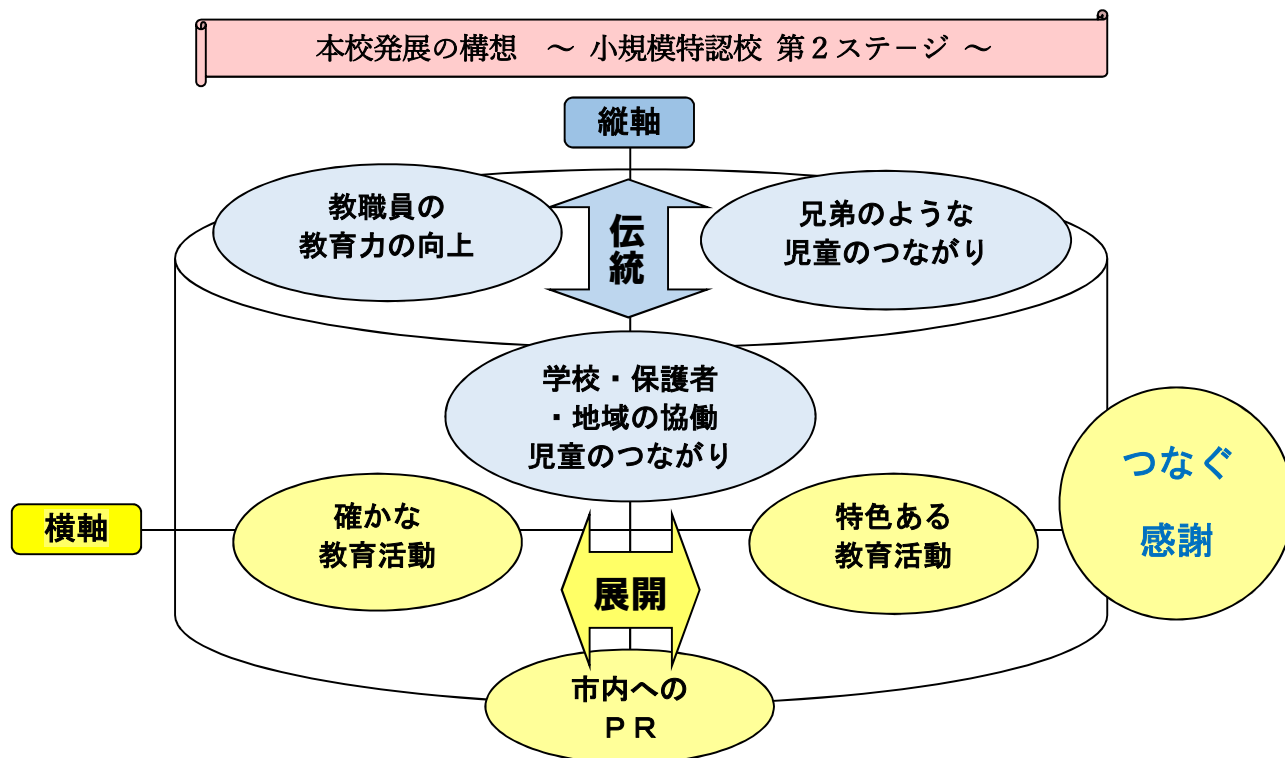
前述を踏まえ、「小さな学校だからこそできること」をコンセプトとした本校の特色ある教育活動を推進し、今年度より、特に以下の二点に力点を置きながら、「魅力あふれる学校」を創り上げる。

- (1)「未来を創る」をキーワードに、使命感と愛情をもった教職員の教育力の向上、縦割り班活動を核とした兄弟のような児童同士のつながりの強化、学校・保護者・地域の協働による信頼関係の構築に努める。
(人材育成と伝統の再構築)
- (2)「確かな力」をキーワードに、特色ある教育を活かしながら知・徳・体のバランスのとれた力を育む。また、活動の様子や成果を各種通信やホームページ、ポスター等で市内に広く周知していく。

(確かな教育活動・特色ある教育活動と市内へのPR)

そして、108人全員の笑顔輝く城山西小学校を目指すとともに、本校を希望して入学する児童数の維持・拡大に努める。

【本校を発展させるための「縦軸」と「横軸」の構想図】



【小さな学校だからこそできる教育活動】

～ 小さな学校だからこそできることがあります ～

- 全児童・教職員が、ランチルームで一緒においしい給食を食べます。
- 朝の学習と英会話タイムは、担任の先生と、もう一人の教職員で指導します。
- 子供たちは、縦割り班で活動し、全員の顔と名前と特長が分かります。
- 卒業するまでに、簡単な英会話ができるようになります。

小規模特認校の5つの公約

- ① 会話科の推進
- ② 文化人の先生方の授業
- ③ 地域連携
- ④ 安全でおいしい給食
- ⑤ 放課後活動(こがし桜スクール)

子供たちと創り上げる5つの約束

- ① あいさつ・・・「自分から明るく爽やかな挨拶」
- ② いじめゼロ・・・「いじめを許さない・起こさない」
- ③ うつのみやで一番・・・「宇都宮で何か一番！」
- ④ えがお・・・「笑顔輝く城西の子！」
- ⑤ おもいっきり勉強・運動・・・「頭と体を鍛え抜こう」
(おもいやりの心をもちながら)

『うつのみやで一番』

年度	テーマ	展 開
R 5	挨拶	① あいさつ広げ隊とあいさつ運動 ② 挨拶の日常化
R 6	挨拶	① あいさつ広げ隊とあいさつ運動 ② 挨拶の日常化
R 7	挨拶	③ あいさつの習慣化 ④ あいさつ運動

「107 人全員の笑顔輝く城山西小学校に！」

3 特色ある教育課程の編成

- (1) 1 学級の児童定員数を 20 人程度とした少人数指導を行い、児童一人一人へのきめ細かい支援を実施。

(2) 特設教科の重点化

指 導 内 容	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年
① 会話科	1 0	1 0	1 5	1 5	1 5	1 5
② 外国語活動	2 0	2 0	3 5	3 5		
外国語科					7 0	7 0

- ① 会話科では、以下の 2 点を育成することを目標にして教育課程上に位置付けた。

- ・会話の楽しさやコミュニケーションの大切さに気付き、会話を通して他者と積極的に関わろうとすること
- ・考えたことや伝えたいことを相手に分かりやすく話したり、効果的な表現を工夫したりすること

学年	活 動 内 容	外 部 と の 連 携
1 年 2 年	かるた遊び ことばを広げる活動 全体集会での発表	
3 年	百人一首 読み聞かせに挑戦しよう	宇都宮子どもの本連絡会
4 年	百人一首 劇を楽しもう 全体集会での発表	アトリエほんまる
5 年	百人一首 アナウンサーから学ぼう ことばをひらく「かたり」をしよう	とちぎテレビ 下野民話の会
6 年	百人一首 プレゼンの達人になろう 全体集会での発表 インタビューを取り入れた番組づくりをしよう	とちぎテレビ

- ② 外国語活動・外国語科では、常駐の AET (Assistant English Teacher) によるチームティーチングの授業を実施している。また、月曜日から木曜日まで毎日 15 分間の英会話タイムを設けて、外国語指導を継続してできるよう教育課程を編成している。

- ③ 特色ある教育活動では、各分野の専門性の高い文化人の先生方との触れ合いを通して、人としての感性を磨かせることを目標として実践を行っている。
文化人の先生方の授業を通して児童に身につけたい力及び目指す児童像は、以下の通りである。

感性を磨こう

- ・生涯にわたって芸術が楽しめる子ども
- ・自分のめあてに向かってせいいっぱいがんばれる子ども
- ・お互いを尊重できる子ども
- ・みんなで行うことに喜びを感じられる子ども

文化人の先生方の教育支援活動

学 年	活 動 内 容	講 師	予定時数
1 年	体幹を鍛える体づくり ・運動会ダンス 「木霊 歌う 笑う」 ・体幹を鍛える準備体操 ・創作ダンス	舞踊家 妻木先生	4
2 年	体幹を鍛える体づくり ・運動会ダンス 「木霊 歌う 笑う」 ・体幹を鍛える準備体操 ・創作ダンス	舞踊家 妻木先生	4
3 年	風船たまご製作	彫刻家 粕谷先生	4
4 年	大書 創作	書道家 櫻井先生	8
5 年	箏 演奏 ・こがし桜スクールでの箏の練習 ・孝子桜まつりへの参加	箏奏者 和久先生	1 5
6 年	箏 演奏 ・こがし桜スクールでの箏の練習 ・孝子桜まつりへの参加	箏奏者 和久先生	1 5
全学年	マイ皿づくり ダンス ・運動会ダンス 「木霊 歌う 笑う」	陶芸家 林 先生 舞踊家 妻木先生	2 1 0

◇本校の特色ある教育課程の編成として、まずは少人数による指導が挙げられる。一人一人へのきめ細かい支援を行っていくことで、さまざまな教育活動が実践されてきた。

次に、外国語指導を入学から卒業まで、ほぼ毎日学ぶことで児童の英語を学ぶ意欲の持続と、習慣化することで着実な力を身に着けられるようになってきている。

最後に、文化人の先生方による教育活動が挙げられる。文化人の先生方から直接指導を受けることで、児童の感性を育み、発想力に大きな飛躍が見られる。これらの活動を継続して実践していくことで、今後も本校児童の感性を磨いていけるようにしていく。